



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月9日

上場会社名 森下仁丹株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4524 URL http://www.jintan.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 駒村 純一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 森田 真司 TEL 06-6761-1131
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	5,158	△2.7	131	11.5	131	9.1	95	13.1
29年3月期第2四半期	5,301	5.8	117	120.3	120	106.7	84	98.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 122百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △8百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	23.42	—
29年3月期第2四半期	20.71	—

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	13,910	9,254	66.5
29年3月期	14,320	9,284	64.8

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 9,254百万円 29年3月期 9,284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	37.50	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は7円50銭となり、1株当たり年間配当金は7円50銭となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	9.4	500	17.1	500	12.8	400	66.0	98.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	4,150,000株	29年3月期	4,150,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	82,188株	29年3月期	82,067株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	4,067,883株	29年3月期2Q	4,068,123株

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.00「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び連結業績予想について)

当社は、平成29年6月29日開催の第80期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当金 第2四半期末 0円00銭 期末 7円50銭（注1）

2. 平成30年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期 19円67銭

(注1) 株式併合考慮前に換算した配当額です。

(注2) 平成30年3月期の年間配当金（株式併合考慮前）は7円50銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当連結会計年度におけるわが国経済は着実に回復しております。世界的な製造業サイクルの好転を受けた輸出の回復や国内需要の底堅い推移が続いております。また個人消費は、雇用所得環境の改善を背景に堅調な推移が続いており、原油価格上昇に伴うガソリンや灯油の大幅上昇を主因とした消費者物価の上昇など、緩やかな回復基調が続いております。

当社グループの属する業界は、異業種を含む大手企業の新規参入など更なる競合激化は続いており、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しいものとなっております。

このような状況のなか、当社グループとしては、「伝統と技術と人材力を価値にする」をビジョンとして、引き続き積極的な営業活動を展開しております。特に当社独自素材であるローズヒップ及びサラシアの機能性素材の販売については前年同四半期と比べ大幅な増収となりました。一方「ヘルスエイド®シリーズ」及びフレーバーカプセルの受託については前年同四半期と比べ大幅な減収となり、その結果、売上高は5,158百万円と前年同四半期と比べ143百万円の減収となりました。

利益面においては、効率的なプロモーション活動及びコストダウン諸施策による原価率の低減により営業利益は131百万円と前年同四半期と比べ13百万円の増益となり、また営業外損益を加えた経常利益は131百万円と前年同四半期と比べ10百万円の増益となりました。さらに投資有価証券評価損を含む30百万円の特別損失を加えた税金等調整前四半期純利益は101百万円と前年同四半期と比べ19百万円の減益となり、法人税、住民税及び事業税並びに法人税等調整額を加えた親会社株主に帰属する四半期純利益は95百万円と前年同四半期と比べ11百万円の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ヘルスケア事業

当セグメントにおきましては、機能性表示食品「ヘルスエイド®シリーズ」が前年同四半期と比べ減収となりましたが、機能性素材の販売強化により、ヘルスケア事業の売上高は3,908百万円と前年同四半期と比べ281百万円の増収となりました。

損益面では、前期末に回転率の悪い商品を評価減した事や、効率的なプロモーション活動等により、セグメント利益は233百万円と前年同四半期と比べ443百万円の増益となりました。

② カプセル受託事業

当セグメントにおきましては、医薬品カプセルやその他の受託については前年同四半期並に推移しましたが、フレーバーカプセルの受託の落ち込みにより、カプセル受託事業の売上高は1,229百万円と前年同四半期と比べ436百万円の減収となりました。

損益面では、効率的な研究開発投資に努めましたが、セグメント損失は51百万円と前年同四半期と比べ367百万円の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、13,910百万円と前連結会計年度末と比べ409百万円(2.9%)の減少となりました。総資産の内訳は、流動資産が5,596百万円と前連結会計年度末と比べ380百万円(6.4%)の減少となり、固定資産が8,314百万円と前連結会計年度末と比べ29百万円(0.3%)の減少となりました。流動資産の減少の主な要因は、現金及び預金の減少によるもので、固定資産の減少の主な要因は、減価償却費の進捗による有形固定資産の減少によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、4,656百万円と前連結会計年度末と比べ379百万円(7.5%)の減少となりました。負債の内訳は、流動負債が2,619百万円と前連結会計年度末と比べ261百万円(9.1%)の減少となり、固定負債が2,036百万円と前連結会計年度末と比べ118百万円(5.5%)の減少となりました。これは、長期借入金の約定返済による1年内返済予定額の減少により、固定負債から流動負債へ201百万円、流動負債から固定負債へ120百万円が移行した事が主な要因であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は9,254百万円と前連結会計年度末と比べ29百万円(0.3%)の減少となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、2,641百万円と前連結会計年度末と比べ236百万円(8.2%)の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は270百万円(前年同四半期連結累計期間は639百万円の増加)となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益101百万円、減価償却費305百万円、返品調整引当金の減少93百万円、売上債権の減少73百万円、たな卸資産の増加31百万円などによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は117百万円(前年同四半期連結累計期間は138百万円の減少)となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得95百万円、無形固定資産の取得20百万円によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は388百万円(前年同四半期連結累計期間は317百万円の減少)となりました。その主な要因は、長期借入金の返済236百万円、配当金の支払152百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,877	2,641
受取手形及び売掛金	1,495	1,421
商品及び製品	623	577
仕掛品	369	438
原材料及び貯蔵品	329	338
その他	292	191
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	5,976	5,596
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,998	1,932
機械装置及び運搬具(純額)	1,357	1,244
土地	2,217	2,217
建設仮勘定	2	128
その他(純額)	236	269
有形固定資産合計	5,813	5,792
無形固定資産	202	177
投資その他の資産		
投資有価証券	2,266	2,283
その他	61	61
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,327	2,344
固定資産合計	8,343	8,314
資産合計	14,320	13,910

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	921	920
1年内返済予定の長期借入金	692	537
未払法人税等	211	22
賞与引当金	158	159
返品調整引当金	171	78
売上割戻引当金	20	23
ポイント引当金	42	44
設備関係支払手形	31	130
その他	631	702
流動負債合計	2,881	2,619
固定負債		
長期借入金	875	793
繰延税金負債	740	682
退職給付に係る負債	537	558
その他	1	1
固定負債合計	2,154	2,036
負債合計	5,035	4,656
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,537	3,537
資本剰余金	963	963
利益剰余金	4,089	4,032
自己株式	△137	△138
株主資本合計	8,452	8,394
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	829	856
退職給付に係る調整累計額	2	3
その他の包括利益累計額合計	832	859
純資産合計	9,284	9,254
負債純資産合計	14,320	13,910

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	5,301	5,158
売上原価	2,590	2,405
売上総利益	2,711	2,752
販売費及び一般管理費	2,593	2,620
営業利益	117	131
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	13	9
事業譲渡益	5	—
その他	3	1
営業外収益合計	23	11
営業外費用		
支払利息	6	7
保険解約損	10	—
その他	3	3
営業外費用合計	19	10
経常利益	120	131
特別損失		
投資有価証券評価損	—	29
その他	—	0
特別損失合計	—	30
税金等調整前四半期純利益	120	101
法人税、住民税及び事業税	41	7
法人税等調整額	△4	△1
法人税等合計	36	6
四半期純利益	84	95
親会社株主に帰属する四半期純利益	84	95

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	84	95
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△92	26
退職給付に係る調整額	△0	1
その他の包括利益合計	△92	27
四半期包括利益	△8	122
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8	122

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	120	101
減価償却費	362	305
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	11	22
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	2	△93
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11	0
売上割戻引当金の増減額 (△は減少)	△2	3
受取利息及び受取配当金	△14	△9
支払利息	6	7
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	29
売上債権の増減額 (△は増加)	48	73
たな卸資産の増減額 (△は増加)	139	△31
仕入債務の増減額 (△は減少)	4	△0
その他	17	40
小計	685	449
利息及び配当金の受取額	13	13
利息の支払額	△6	△5
法人税等の支払額	△53	△188
営業活動によるキャッシュ・フロー	639	270
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△81	△95
無形固定資産の取得による支出	△32	△20
投資有価証券の取得による支出	△35	△3
貸付金の回収による収入	—	1
貸付けによる支出	△51	—
保険積立金の解約による収入	67	—
その他	△5	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△138	△117
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△165	△236
配当金の支払額	△152	△152
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△317	△388
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	184	△236
現金及び現金同等物の期首残高	1,586	2,877
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,770	2,641

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,627	1,666	5,293	8	5,301	—	5,301
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	141	141	△141	—
計	3,627	1,666	5,293	149	5,443	△141	5,301
セグメント利益 又は損失(△)	△210	316	105	12	117	—	117

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,908	1,229	5,138	19	5,158	—	5,158
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	136	136	△136	—
計	3,908	1,229	5,138	155	5,294	△136	5,158
セグメント利益 又は損失(△)	233	△51	182	△50	131	—	131

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。